

県立大学の学生グループのエコアクション



▲「キャンドルの灯りがつくあたたかい空間でゆっくり過ごして」と話す、池山さん(右)と井上さん

キャンドルの灯りで過ごす スローな夜を

「あかりんちゅ」の活動を始めたきっかけや思いを、代表の池山邑華さんと副代表の井上はづきさんに聞きました。

滋賀県立大学 あかりんちゅ

滋賀県立大学の学生グループの「あかりんちゅ」は、主に寺院やブログを見た支援者などから提供された使用後のろうそくを再利用してキャンドルを作り、市内や県内各地で行われる「キャンドルナイト」で使用しています。
昨年、夢京橋キャッスルロードや商業施設付近などで行われた

学生を中心に広めていく「アロマ、小さくなったクレヨン」を粉末状にして、ろうそくに入れて色をつけたり、アロマオイルを入れたアロマキャ

エネルギーについて 考えてもらえれば

「ひこねキャンドルナイト」にも参加しました。
活動のきっかけは、寺院などで使われた多くのろうそくの燃え残り(残ろう)が廃棄されていることを知ったこと、環境負荷の少ないキャンドルイベントを行いたいという思いからでした。
平成20年から活動を始めて、今では「キャンドルナイトを開いて欲しい」との依頼が市内外からくるようになりました。以前に県立小児保健医療センター(守山市)で開いたときには、多くの子どもたちや看護師の皆さんに楽しんでもらえてうれしかったです。

問い合わせ先
滋賀県立大学 近江楽座事務局
☎ 28-8616番 / Eメール : info@ohmirakuza.net
あかりんちゅブログ URL : http://akarinchu.shiga-saku.net/



▲溶かしたろうそくを器に注ぎ(上)、ろうそくが固まる前に芯を入れる(下)



「ひこねキャンドルナイト」にも参加しました。
活動のきっかけは、寺院などで使われた多くのろうそくの燃え残り(残ろう)が廃棄されていることを知ったこと、環境負荷の少ないキャンドルイベントを行いたいという思いからでした。
平成20年から活動を始めて、今では「キャンドルナイトを開いて欲しい」との依頼が市内外からくるようになりました。以前に県立小児保健医療センター(守山市)で開いたときには、多くの子どもたちや看護師の皆さんに楽しんでもらえてうれしかったです。

家庭で取り組める省エネルギー生活

1 環境家計簿「みるエコおうち」

「みるエコおうち」は、滋賀県が開発したインターネット上で管理する環境家計簿のことです。
毎月の電気・ガス・水道使用量等を入力することで、「どれだけ節約ができていたか」「どれくらい二酸化炭素の排出削減ができていたか」がわかります。
彦根市のホームページからも入れることができます。「活用ください」。
※「みるエコおうち」ホームページ : <http://www.biwaco2.jp/>



▲「みるエコおうち」の画面(部分)

2 キッズISO14000

困生活環境課では、市内小学6年生を対象に、学校単位で「キッズISO14000」を実施しています。
家庭での1週間の電気・ガス・水道の使用量を調べたあと、節約の取り組みをしながら、使用量を調べることで、どれだけ使用量が減ったのかを実感していただく取り組みです。
平成22年度には、6校が取り組み、全家庭で1.31tの二酸化炭素の排出削減ができました。



▶キッズISO14000プログラムにより削減された二酸化炭素排出量の証書

なりませんか 彦根市環境パートナー委員



「第2期彦根市環境基本計画および地域行動計画」の目標について、「彦根市の施策が適正に実施されているか」「目標にどの程度達しているか」などを、公募市民を含む10人で評価・検討を行います。
議論された委員会の意見は、「年次評価報告書」にまとめ、市長に提言を行います。

任期 委嘱時～平成25年3月31日
活動 会議は年度内に4回、全て平日に実施
対象 市内在住・在勤の人 定員 若干人
募集期間 7月1日(金)～同15日(金)
申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号、応募の動機、環境に対する思いを書いて、直接お持ちいただくか、郵送、ファクス、Eメールで応募してください。様式は問いませんが、A4用紙1枚程度にまとめてください。※応募者多数の場合は選考。
申込・問い合わせ先 困生活環境課

参加しよう キッズISO14000



上に記載した「キッズISO14000」に取り組んでいただける人を対象に、夏休みに特別講習会として、開講します。取り組みをしていただいた人には、評価表が送られます。
※評価表は、上にある認定書とは異なります。

日時 8月1日(月)、同10日(水)、同19日(金) (全3回) いずれも10:00～
場所 市役所4階 42会議室
定員 30人
※先着順。ただし、学校で未受講の人を優先。
対象 市内の小学5・6年生
申込・問い合わせ先 困生活環境課

